

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社学研データサービス

②事業者情報

名称：	仲町どろんこ保育園	種別：	保育所
代表者氏名：		定員(利用人数)：	106 名
所在地：	〒351-0006 埼玉県朝霞市仲町2-9-48	TEL	048-450-3001

③評価実施期間

平成 28 年 11 月 10 日 (契約日) ~平成 29 年 3 月 22 日 (評価結果確定日)

④総評

**<特に評価の高い点>**

**○保育に取り組むときの職員の基本姿勢は、園全体で職員の共通理解を深めています**

園は開園して3年目です。職員の大半は若く、経験の浅い職員がほとんどです。そうした職員が法人の保育理念「にんげん力。そだてます。」のもと、「センス・オブ・ワンダー」や「人対人コミュニケーション」といった保育目標を達成するためには、保育に取り組むときの職員の基本姿勢を園全体で統一を図ることが大切だと考えています。そのため保育の取り組みは、どの保育に対しても、まずは職員どうしが話し合い、検討して、なぜそうしなければいけないのかを全員が納得し、理解したうえで取り組むことを基本にしています。職員会議は法人からの通達や園内の連絡、報告で終わらせずに、保育内容についての園内研修も実施しています。また、職員の個人目標も共通する目標をもつ職員をグループに分けて、面談会を開き、一人で抱え込まないように共通の課題として話し合う機会を頻繁に設けています。そして、法人の保育理念や保育目標を達成するため、園独自の保育目標を設定し、子どもとかかわるときの職員の態度や言葉遣いをポイントを示しています。保育現場に置き換えた具体的な文言ですので、職員の理解を深めています。この園独自の保育目標は、保育課程にも掲載し、赤字で表現することでどの職員にも確認できるようにしています。

**○園庭や保育室には、手作りの遊具がたくさんあります**

園庭や保育室には、子どもたちが遊ぶ遊具がたくさんありますが、市販にはない園独特の手作り遊具が多数確認できました。主に子どもたちの体幹を鍛えるための大型の木製遊具が目を引きました。材料は材木業者から購入したものや、系列園から調達したものなどさまざまですが、木や竹の幹を組み合わせた子どもがIPPENに何人も遊べる大型の遊具がいくつもありません。また園庭の木と木をロープや縄で結んだアスレチックのような遊具、近年注目されているボルタリングを簡易にしたような遊具などもありました。また、保育室にはいくつもの遊びのゾーン（コーナー）がありますが、手作りの衝立で仕切ったり、おもちゃを置く棚もその場にふさわしい棚を手作りしていました。主に園の職員が作っており、施設長や職員が検討しながら、大きさや形状を決めています。子どもが自然の中で遊ぶ機会を設ける園の保育方針にあった活動です。

**○外遊びや散歩など、自然と触れ合うことで、子どもたちはさまざまな能力を伸ばしています**

法人の保育理念「にんげん力。そだてます。」は、野外体験や必要な遊びを通して、自分で考えて行動する力を育むことを目的に、また保育目標の「センス・オブ・ワンダー」は、自然の中にたくさん足を運び、自然の中での発見からさまざまな不思議を感じ取ることを基本にしています。そこで園では、子どもたちが自然の中で遊ぶことを大事にしています。朝は登園して来たら、お昼の給食まで必ず散歩に出たり、園の前の公園で遊ぶことを基本にしています。午後午後後は外遊びや散歩をしています。散歩のときは商店街ツアーに出かけて行って商店の活動を見学したり、途中で出会った地域の方には挨拶をしたりしています。散歩は、社会観察の場であり、人とのコミュニケーションを図る場としています。また園では近くの畑で野菜の栽培をしていますが、野菜の世話をしたり収穫することで、自然の恵みを知りますし、農家の方々の苦勞も体験しています。また園でもヤギやウサギ、カメなどを飼い、子どもたちが生き物の世話をしています。今回の第三者評価でも、保護者から外遊びが多いことや、自然に触れ合う機会を多くもっていることを歓迎する声がたくさん寄せられていました。

**<特にコメントを要する点>****●外遊びを充実させていますが、外の泥を施設内に持ち込まないように工夫されることを望みます**

園は開園して3年目、施設や設備はどこもきれいな状態で管理されています。施設内の清掃は、職員が手分けをして常にきれいな状態を保つように努めていますし、子どもたちも毎日、雑巾がけをしています。しかし、訪問調査日の夕方、園を出るときに玄関にかなりの量の泥が持ち込まれていました。戶外遊びの際、園庭や公園の泥が靴について、持ち込まれたようです。夕方の時間帯も目の前の公園で、子どもたちが遊んでいました。訪問調査日は1月の厳寒期でしたので、園庭も公園も霜が降りて、土の部分は泥だらけになっていました。施設内では子どもたちは裸足で過ごしていますので、玄関の泥が施設内に持ち込まれないように工夫されることを望みます。

**●子どもたちの外遊びや散歩の際、職員の監視体制をさらに強化されてはいかがでしょうか**

子どもの安全確保は園の最優先課題です。園では外遊びや散歩を毎日行っています。子どもたちが外に出るときは、職員が複数で見守り、注意を払っています。特に当園の目の前は公園で、毎日子どもたちがこの公園で遊んでいます。公園と園の間は道路で、車が通ります。道路を横断する際に職員は十分注意を払っていますが、暴走する自動車や居眠り運転などのことを考えれば、「保育園あり、子どものとび出しに注意」などの道路標識を設置してドライバーに注意を促すことも考えられます。道路標識となると園独自では設置できませんので、警察署や市役所に相談されてはいかがでしょうか。今回の第三者評価の利用者の意見でも、外遊びの際の交通事故などを心配する声もありました。また、園の前の公園は広いので、職員の監視の目をさらに強化されることを望みます。

**⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント**

第三者評価は、日頃取り組んでいる保育内容および運営全般について外部からの視点で気づきを得る非常に有効な取り組みであると認識しています。  
ここで明らかになった課題、成果、問題点などを職員及び法人全体で共有し、より一層質の高い保育サービスの実践のためにどんな取り組みが必要か、具体的なアクションにつなげてゆきたいと考えています。

**⑥各評価項目にかかる第三者評価結果**

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり